

今、私にできること

大阪市立市岡中学校3年 清水 みなみ

私のお小遣いは、毎月三千円です。消費税が十パーセントに上がっても、母は何くわぬ顔で三千円を手渡してくれました。世間話のように、

「今月から消費税上がるなあ。」

と、最後の抵抗を試みたものの、予想通り私のお小遣いが上がる事はありませんでした。そんな時、店内で飲食すると消費税が十パーセントかかるのに、持ち帰ると八パーセントというお得な情報を知りました。これは良い話を聞いたと思い、大好きなハンバーガーやドーナツは、できるだけ家で食べる様に心がけ、私なりの節約を試みました。まさかこれが、節約ではなく、そうしないといけなくなる日が来るなんて夢にも思わずに・・・。

二月末から、大好きな学校が突然休校になりました。そう新型コロナウイルス感染拡大防止の為に休校です。毎日家で、家族が戻るまで、一人で過ごす日々が続きます。店もどんどん休業していきます。家族で外食という私の楽しみも不可能になっていきます。母が休業要請を受けている店に関わる人達の暮らしを心配し始めます。

「こんな事なら二パーセントなんてケチらずに、お店に支払ってれば良かった。」

と、母に言うと、

「消費税は、国や地方にお店を介して、間接的に納めている税金で、お店の人達の利益にはならないよ。」

と、教えてくれました。それなら良かったとホッとした私に、母は言います。

「でもな、今、国や地方が、困っているたくさんの人を救うために出している給付金は、みんなが日頃納めている税金から支払われているねんで。こんな時の為にも、日頃からきちんと税金を納めていれば、堂々と給付金をもらう事ができるし、少しは役に立てているなって思う事ができるから、消費税分を節約するのに必死になるよりは、支払った方が気分は良いかもな。」

そう言われ、今までの自分が少し恥ずかしくなりました。

今も、コロナウイルスとの闘いは続いています。もっともっと、税金を投入しないといけない状況が続くと思われまます。そんな中ですが、幸せな事に私は、色々な人達に支えられ、学校・部活など日常生活を取り戻しつつあります。今の私に出来る事は少ないですがとりあえず税金を納める事の意味、また、税金がどのように使われ、どのように人々の暮らしに役立っているのかを、今から少しずつ学び、将来の生き方に役立てたいと思います。

でも、やっぱりお小遣いは上げて欲しいです。